

## 第4章 松浦市の産業振興の方向性

### 1. 産業振興の将来像

本市の産業を取り巻く社会経済情勢の変化や本市の産業の特徴、市内事業者が抱える課題等を踏まえ、産業に係るポテンシャルを最大限に生かすため、本市産業の将来像を以下のとおり設定します。

挑戦する人と共にイノベーションを起こし、  
多彩な産業が生まれ育つまち

本市は、食を支える農水産業をはじめ、エネルギー関連産業、商工業など、多くの中小企業・小規模企業者によって地域の雇用と経済が支えられているまちです。

中小企業・小規模企業者の健全な成長や持続的な発展が地域の活性化の基礎となるため、企業が持つ優れた技術や匠の技、地域のネットワークを活用して、社会の変化に対応したイノベーションを進め、付加価値の高いものづくりやサービスを提供するとともに、豊かな自然の中で息づいてきた松浦の特性を生かした創造的な産業を生み出すなど、新たな価値を創造するまちの実現を目指します。



【ワークショップの風景】

## 2. 将来像の実現に向けた産業振興の基本方針及び推進施策



## 第5章 松浦市の産業振興に向けた重点プロジェクト

### 1. まつうらの未来を支える産業の成長促進

#### 背景

人口減少や経済のグローバル化、産業構造の転換等によって激変する産業環境に対応するため、技術革新や新たな商品・サービスの提供等に果敢にチャレンジする事業者を応援する取り組みが重要です。

#### 推進施策

#### (1) 産業支援体制の強化及び支援制度の周知・充実

様々な経営課題を抱える中小企業・小規模事業者の課題解決やニーズの把握及び支援を行うため、産業支援アドバイザー（仮称）を配置します。また、関係機関とのネットワークを強化し、より強固な支援体制の構築と支援制度の整備を行います。

#### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標				目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠	
産業支援アドバイザー（仮称）による支援件数				60件 (令和6年度)		年15件× 4か年	
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	産業支援アドバイザー（仮称）の配置	専門家による経営課題やニーズの把握及び各種支援を行う。なお、利用状況やニーズ等を動案して産業支援センター（仮称）の設置を検討する	詳細 検討	実施			
	産業支援情報提供システムの構築	知られていない、活用されていない支援制度が多くあるため、ポータルサイト等新たな情報提供システムを構築する	詳細 検討		段階的に実施		
	産業支援制度説明会の開催	長崎県や松浦商工会議所・松浦市福鷹商工会と連携して産業制度説明会を開催する	実施				
	生産性向上の支援	ICT・IoT活用による生産性向上支援のための補助金を創設する	詳細 検討		段階的に実施		
継続	各種補助制度による支援	各種補助制度（がんばる中小企業応援補助金、ものづくりステップアップ応援補助金、チャレンジ支援事業補助金）による支援	実施				

#### (2) 事業継続の支援

近年、小規模事業者に甚大な影響を及ぼす大規模災害が相次いで発生しています。本市においても、令和元年8月末の記録的な大雨により、大規模な地滑りが発生しました。この大雨による小規模事業者の経営への影響はありませんでしたが、ひとたび被災すると経営に大きな影響を受ける可能性があります。

このため、松浦商工会議所及び松浦市福鷹商工会と共同して、自然災害等に備える小規模事業者の取り組みを支援するため、事業継続力強化支援計画を策定します。

#### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標				目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠	
事業継続力強化支援計画の策定				1件 (令和3年度)		—	
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	事業継続力強化支援	事業継続力強化支援計画を策定し、災害時の計画的かつ迅速的な支援体制を構築する	策定		支援		

## 2. まつうらの地域資源を生かした産業とまちの活性化

### 背景

消費者から食品の高い安全性、品質、高付加価値が求められる中、本市の魅力的な農水産物の認知度の向上、販路の開拓や拡大を推進していくためには、販売戦略が重要になります。そのため、ブランド化の推進による消費者への新たな価値の提供や認知度の向上、消費機会の拡充、効果的なプロモーション等、まつうらの魅力を総合的に発信する戦略的な取り組みが重要です。

### 推進施策

#### (1) 地域ブランド力の強化及び農水産物の付加価値向上支援

地域資源である豊かな農水産物を市産品（農産品・水産品・加工品）として指定し、認知度や魅力の向上、域外需要の獲得を図るため、松浦市産品戦略に基づき計画的な戦略展開に取り組みます。なお「松浦市産品戦略」とは、ともだビジョンに掲げる「地域が潤う産業づくり」を実現するため、地域を生業の場とする第1次産業の振興を図るための取り組みです。

また、農水産物を活用した商品開発及び付加価値向上を支援します。

#### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標			目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠		
松浦市産品戦略に基づく市産品の認定数			15品 (令和2年度)		—		
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	市産品の販売戦略のための新たなネットワークの構築	市内で生産・水揚げされた産品の振興を図るため、関係者による協議会を設置する	設置・定期的に開催	→			
	戦略市産品の認定	基準を満たす農水産物を市産品として認定する	順次認定				→
	戦略市産品の認定カタログや認定シール等の製作及び販促支援	市産品の普及を推進するため、カタログや認定シール等のグッズを製作。また、パッケージデザイン等魅力向上を支援する	段階的に実施				→
	都市部でのアンテナショップの開設	松浦市産品の販促、認知度の向上を図るため、都市部にアンテナショップを開設する	詳細検討	段階的に実施			
継続	農水産物の付加価値向上支援	松浦商工会議所や松浦市福鷹商工会、よろず支援拠点等の支援機関と連携しながら農水産物を活用した商品開発を支援する	実施	→			
	ふるさと納税を活用した市産品のPR	ふるさと納税制度を活用して、市産品を全国にPRする	→				→
	日本橋長崎館・埼玉ながさき屋への出品支援	アンテナショップの日本橋長崎館及び埼玉ながさき屋への出品を支援する	実施	→			

#### (2) 木育の推進によるまちの活性化

本市では、令和2年2月に「ウッドスタート宣言」を行い、「木」が持つ魅力の再発見・活用を基本理念とした「木育」を推進することとしています。

現在、松浦産材のほとんどが市外へ出荷されており、市内での活用が少ない現状にあるため、市内での松浦産材の活用を促進します。また、市内には、松浦産材を活用するために必要な木材加工施設等がないため、市内の建築業者等と連携・協働した取組みを強化します。さらにイベント等を通じて、木材の利用普及を推進します。

なお、ウッドスタートとは、特定非営利法人「芸術と遊び創造協会」が実施する活動で、「木」を真ん中に置いた子育て・子育て環境を整備し、子どもをはじめとする全ての人たちが、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送ることができるようにしていく取り組みです。

### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標				目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠	
おもちゃ製造業者数				3社 (令和6年度)		—	
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	おもちゃ製造業者の育成支援	生まれた赤ちゃんに安心・安全な地産地消の木製玩具を誕生祝い品としてプレゼントする「ウッドスタート事業」の実施に伴い、おもちゃの製作者を育成するため、セミナーの開催や専門家派遣を支援する	詳細 検討	段階的に実施			
	木育に関連したイベントの開催	松浦商工会議所青年部が主催する「松浦こども博」等のイベントとの連携により木育の取組みをPRする	実施				
新規	長崎北部森林組合や市内建築業者との連携強化	関係する団体や業者との連携を模索するため、意見交換の場を設ける	実施				
	体験型旅行の新たなメニュー開発	まつうら党交流公社が実施している「ほんなもん体験」において、木に触れることができる「木育」のメニューの導入に向けた検討を進める	詳細 検討	段階的に実施			

### (3) アジフライを契機とした周遊観光の確立

アジフライを契機とした観光客の増加を地域経済の活性化につなげるため、まつうら観光物産協会やまつうら党交流公社等の関係機関と連携して新たな観光コンテンツを開発するとともに周遊観光の仕組みを構築します。

### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標				目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠	
新たな観光コンテンツの開発数				4件 (令和6年度)		年1件× 4か年	
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	農業者や漁業者と連携した観光コンテンツの開発	新たな観光コンテンツとしての観光農園等の整備を支援する	詳細 検討	段階的に実施			
	まつうら観光物産協会やまつうら党交流公社、行政等による検討会の開催	地域の歴史や文化等のストーリーを生かして伊万里・平戸等を含めた広域の観光周遊ルートを検討する		定期的に開催			

### (4) 体験型旅行の受入強化

まつうら党交流公社が県北一体で実施する「松浦党の里ほんなもん体験」は、修学旅行を中心として年間2万人を超える受け入れを行っています。全国的にみても体験型旅行の一大拠点といえますが、年々受入客数が減少傾向にあり、一般客や訪日外国人観光客の受け入れを増やすことが必要です。

現在、訪日外国人観光客数は、3,000万人を超えており、全国的にみても人や自然との触れ合いを重視した体験型旅行のニーズが高まっていることから、まつうら党交流公社と連携してインバウンド対策を強化します。

### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標				目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠	
インバウンド受入数				1,500人 (令和6年)		598人 (平成31年)	
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	クルーズ船観光客の受入強化	福岡・長崎・佐世保に寄港しているクルーズ船観光客を対象とした体験型旅行の受入を支援する	詳細 検討	段階的に実施			
継続	修学旅行生の受入強化	修学旅行生の受入を増加させるため、営業の強化等を支援する	実施				

### 3. まつうらを元気づける新たな産業の創出

#### 背景

市内総生産額は、近年伸び悩む傾向にあり、地域経済の持続的な成長と発展を実現するためには、地場企業の支援による新分野への進出、新製品・技術の開発促進や創業支援にある新たな事業者の発掘、災害が少ない地域性等を生かした企業誘致が求められています。

#### 推進施策

##### (1) 創業支援の強化

起業・創業を目指す人材を育成・支援するため、商工団体等の創業支援機関と連携し、チャレンジをサポートする環境整備に取り組みます。

##### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標			目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠		
空き店舗を活用したチャレンジショップの整備			4件 (令和6年度)		年1箇所× 4か年		
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	空き店舗等を活用したチャレンジショップ(お試しショップ)の整備	空き店舗等を活用したチャレンジショップ(お試しショップ)を整備することにより、創業しやすい環境を創出する	詳細検討	段階的に実施			
	多様な資金調達システムの構築	クラウドファンディング等の活用を支援するためのセミナーの開催と活用支援	詳細検討	段階的に実施			
	創業者同士の交流の場づくり	創業後5年未満の者を対象として定期的に交流会を開催する		定期的に実施			
	リノベーションスクールの開催	空き家・空き店舗の利活用を促進するため、物件のオーナーを対象としたリノベーションスクールを開催する	詳細検討	段階的に実施			
継続	まつうら起業塾及びビジネスプランコンテスト	創業希望者を発掘・支援するため、起業塾及びコンテストを開催する	実施				
	松浦市空き家バンクと連携した物件情報の提供	空き家・空き店舗の情報を定期的に創業希望者へ提供	実施				
	創業支援制度(補助・融資)の見直しと充実	創業希望者が創業しやすい環境を整備するため、創業支援制度(補助・融資)の見直しを行う		随時実施			

##### (2) 企業誘致の推進

市内における雇用の場の確保と新たな産業を創出するため、関係機関と連携した企業誘致を推進します。

##### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標			目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠		
企業誘致の件数(東部工業団地、堂山工業団地、平野工業団地)			3社 (令和6年度)		3工業団地× 1社		
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	広域連携による企業誘致の推進	中核市である佐世保市、また、周辺自治体との連携による地域全体の魅力発信による企業誘致の推進		随時実施			
継続	優遇制度の見直しと充実	企業誘致を促進するため、松浦市企業立地特別奨励措置の見直しを行う		随時実施			

##### (3) 産学官及び事業者間の連携体制の強化

新商品・サービスの開発、販路開拓、技術革新等の新たな産業を創出するため、事業者と県内に存在する大学・研究機関等の多様な連携を強化します。

##### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標				目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠	
研究開発の支援件数				4件 (令和6年度)		年1件× 4か年	
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	産学官連携による研究開発の支援	企業訪問等でニーズを把握しながら長崎県等と連携して支援する	詳細検討	● → 随時実施 →			
	産学官連携セミナーの開催	産学官連携を推進するため、中小企業を対象としたセミナーを開催する	詳細検討	● → 随時実施 →			
継続	松浦市工業会の事業支援	市内ものづくり関連企業で組織する松浦市工業会の事業を支援する	実施	● → → → →			

#### 4. まつうらの未来を担う人材の確保と育成

##### 背景

少子高齢化に伴う生産年齢人口（働き手）の減少が続く中、中小企業・小規模事業者においては重要な経営資源である人材の確保と育成が大きな課題となっています。

事業者が抱える課題の解決を図り、刻々と変化する社会経済情勢に対応するため、関係機関のネットワークを強化して、企業経営の安定と革新を支援するとともに、新たなチャレンジへの支援と人材の育成・確保に取り組みます。

##### 推進施策

##### (1) 就職マッチング及び外国人技能実習生の支援

市内事業所の成長促進、経営力強化を図るため、市内事業所への就職を促進します。また、市内事業所において増加傾向にある、外国人技能実習生の受入を支援します。

##### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標				目標値 (目標年度)		目標値の 設定根拠	
松浦市合同企業面談会による就職者数				15人 (令和6年度)		年3人× 5か年	
	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	人材確保・育成の支援制度の創設（拡充を含む）	求人広告や人材紹介サービスの活用、資格取得に対する補助制度を創設する	詳細検討	● → 段階的に実施 →			
	外国人技能実習生の就労・交流支援	外国人技能実習生を雇用する市内事業所の人材育成教育及び人的交流等を支援する	詳細検討	● → 段階的に実施 →			
継続	松浦市合同企業面談会の開催	合同企業面談会を開催して、市内事業所と求職者のマッチングを図る	● → → → →				
	インターンシップの推進	市内の中学校・高校、県内大学と連携した職業体験を実施する	● → → → →				
	松浦市人材登録事業の推進	移住相談会等のイベントで事業を紹介し、U I ターン希望者と市内事業所のマッチングを図る	● → → → →				

##### (2) 後継者の経営力アップ及び事業承継の支援

地域経済の低迷や社会構造の変化の中で、市内商店においては、買い物客の市外流出による売上の低迷、廃業といった状況が発生しています。今後、本市の商業を維持・発展させていくため、後継者の育成や新たな担い手の確保を支援します。

##### 【成果指標及びスケジュール】

成果指標		目標値 (目標年度)	目標値の 設定根拠
商工団体（松浦商工会議所・松浦市福鷹商工会）の会員数		670人 (令和6年度)	H31.4.1現在の 会員数671名

	事業名	事業内容	R2	R3	R4	R5	R6
新規	後継者の経営力アップ支援	各種セミナーの開催、専門家派遣等により後継者の経営力アップを支援する	詳細 検討	● 段階的に実施 →			
	事業承継セミナーの開催	専門家による事業承継セミナーを開催する	●	→ 随時開催 →			
継続	長崎県事業引継ぎ支援センターとの連携	事業引継ぎ支援センターと連携して、後継者がいない中小企業・小規模事業者を支援する	実施 ●	→ → → → →			
	商工団体との情報共有	松浦商工会議所及び松浦市福鷹商工会と定期的に情報交換を行う	実施 ●	→ → → → →			